

# 人権啓発フェスティバル

## 2022

Syoko Kanazawa

Yasuko Kanazawa

### 金澤泰子 講演会

かなざわ やすこ

### 金澤翔子 席上揮毫

かなざわ しょうこ

(書のパフォーマンス)

演題

ダウン症の娘と共に生きて



入場無料

揮毫・講演は事前申込制

手話通訳

あり

要約筆記

あり

2022年(令和4年)

# 10月30日 日

12:00~15:30

揮毫・講演 13:00~14:40

会場

松山市総合コミュニティセンター (松山市湊町七丁目5番地)

※駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。

新型コロナウイルスの感染拡大により、このイベントの開催を中止する場合があります。最新情報は松山市ホームページをご確認ください。

「誇れる」人権尊重で笑顔に ~人にやさしい、人がやさしいまち 松山~

(松山市人権啓発施策に関する基本方針 スローガン)

裏面あり

# 人権啓発フェスティバル 2022

## ● キャメリアホール ●

- 12:20~ 受付
- 13:00~ 主催者あいさつ
- 13:10~ 席上揮毫 (書のパフォーマンス)  
書家 金澤 翔子  
講演「ダウン症の娘と共に生きて」  
講師 金澤 泰子 (14時40分頃終了予定)

事前申込制

## ● コミュニティプラザ ●

- 12:00~15:30  
展示コーナー
  - 翔子さんの作品展示
  - 令和3年度人権啓発標語・ポスター・絵手紙入賞作品
  - 各種人権啓発に関するパネル

### 講師プロフィール

## 金澤 泰子

(かなざわ やすこ)

金澤翔子の母。  
1943年生まれ、明治大学卒業。  
書家 柳田流家元に師事。  
1990年 東京都大田区に「久が原書道教室」を開設。  
主な著書として  
『天使の正体』(かまくら春秋社)、  
『心は天につながっている』(PHP研究所)、  
『涙の般若心経』(世界文化社)その他多数。  
久が原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。  
日本福祉大学客員教授。



## 金澤 翔子

(かなざわ しょうこ)

1985年 東京都目黒区に生まれる。  
5歳で母の師事で書を始める。  
2005年 20歳、銀座書廊で初個展。  
2009年 鎌倉建長寺、京都建仁寺で個展開催。  
(以後毎年開催)  
2011年 奈良東大寺で個展開催。  
福島に「金澤翔子美術館」を開設。  
2012年 NHK・大河ドラマ「平清盛」揮毫。  
2013年 銀座に「銀座金澤翔子美術館」を開設。  
熊野大社、厳島神社で奉納の揮毫。  
ニューヨーク国連本部でスピーチ。  
日本福祉大学客員准教授。  
文部科学省スペシャルサポート大使。  
東京オリンピック公式ポスター制作アーティスト。

揮毫・講演会には  
入場券(無料)が必要です

※入場者1人につき1枚

締め切り

# 10月5日 水

## 当日消印有効

※先着順。定員になり次第締め切ります。

### 申込方法 専用ウェブサイト、はがき、電話、FAX、Eメール

下記の必要事項を記入

①氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③連絡がとれる電話番号

④必要枚数(1申込み2枚まで)

※新型コロナウイルスの感染拡大により、このイベントの開催を中止する場合があります。

その際は、入場券を申込みされた方へ、別途ご案内します。

※定員450人程度

(先着順。定員になり次第締め切ります。定員数は新型コロナウイルスの感染状況により変更する場合があります。)

※入場券は、10月20日前後の発送を予定しています。

入場券のお申込み・お問い合わせはこちら

専用ウェブサイトからの  
申込みが簡単・便利です!

松山市 人権啓発課 〒790-8571 松山市二番町四丁目7番地2

TEL: 089-948-6380 FAX: 089-934-1742 E-mail: jinkenfes@city.matsuyama.ehime.jp



● 申込み専用ウェブサイト

主催 松山市・松山市人権教育推進協議会

個人情報管理について

いただいた個人情報は、松山市が責任をもって管理し、入場券受付及び新型コロナウイルス関連で利用する場合があります。